

## ヘッドフォンアンプシリーズ

# BD88□□□GUL 評価ボード取扱説明書

BD88200GUL, BD88210GUL, BD88215GUL, BD88220GUL,  
BD88400GUL, BD88410GUL, BD88415GUL, BD88420GUL

## ●概要

BD88□□□GUL は出力カップリングコンデンサレスヘッドフォンアンプです。

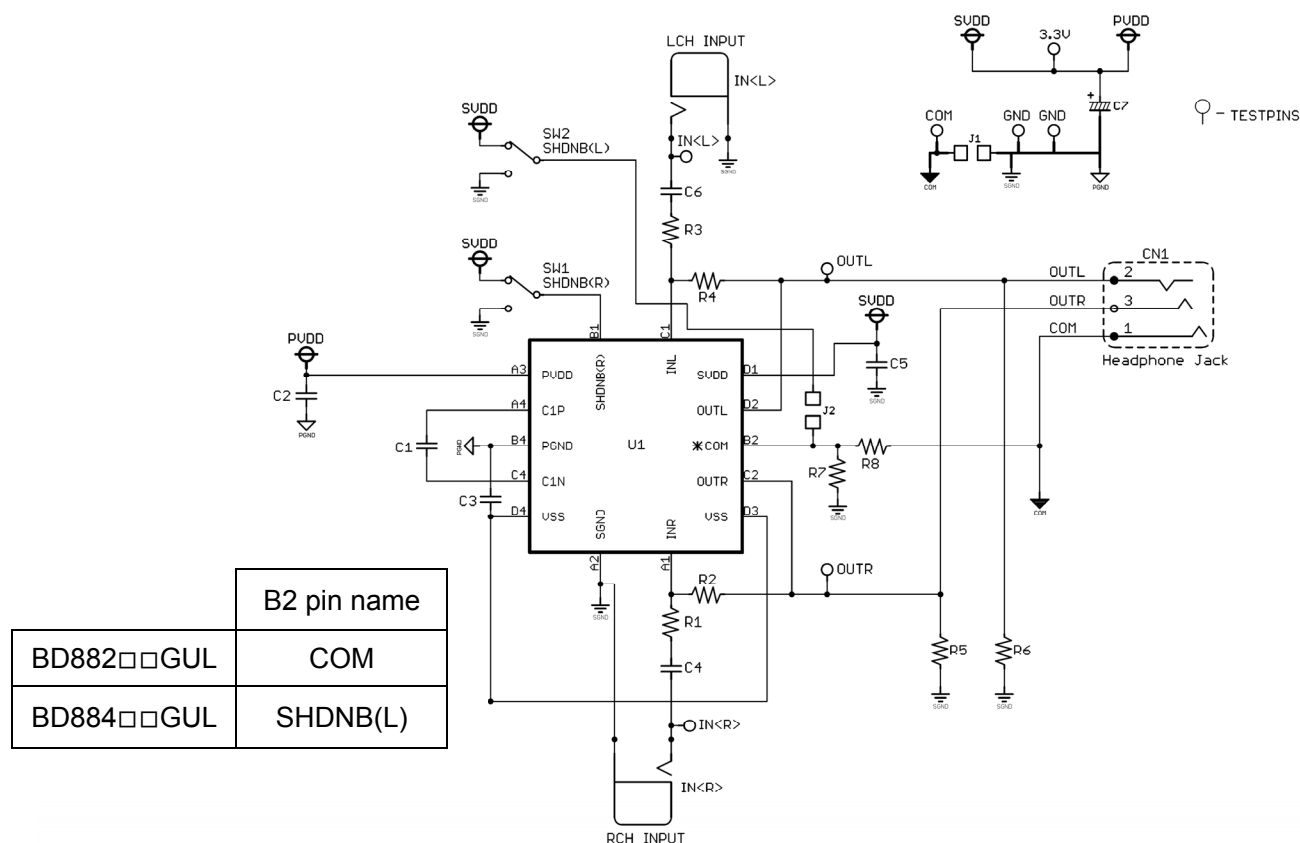
## ●目次

概要.....	1
目次.....	1
ボード使用条件.....	1
ボード回路図.....	2
PCB レイアウト.....	2
使用方法.....	3
部品リスト.....	3

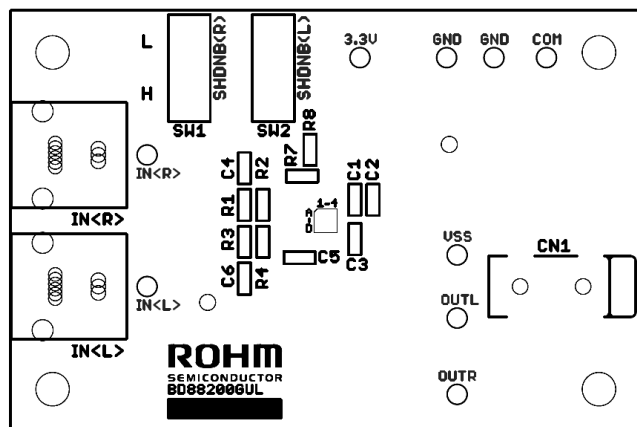
## ●ボード使用条件

項目	記号	範囲	単位
電源電圧	$V_{DD}$	+2.4 ~ +5.5	V
入力電圧	$V_{IN}$	-2.5 ~ +2.5	V
負荷抵抗	$R_L$	$16 \leq$	$\Omega$
最大出力電力	$P_O$	0.1	W

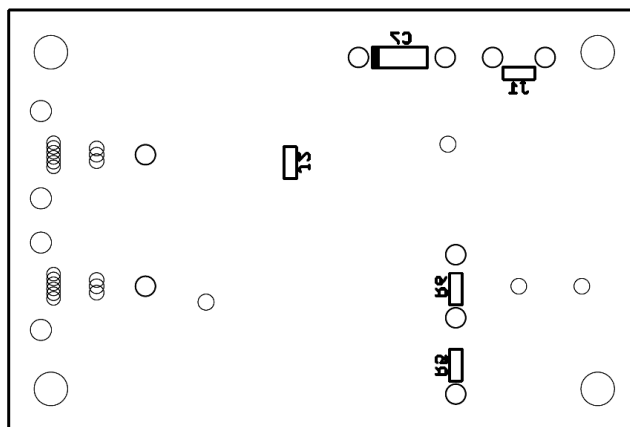
## ●ボード回路図



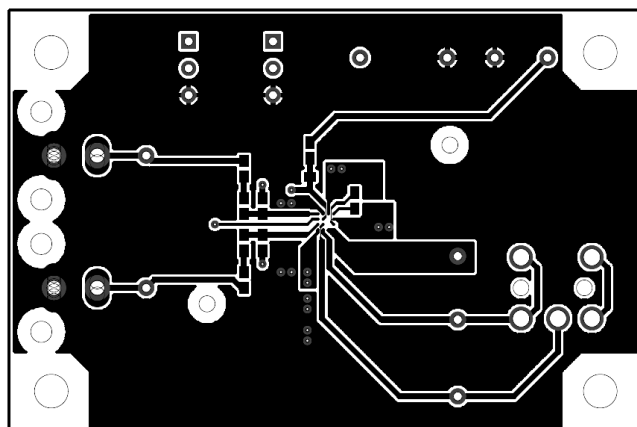
## ●PCB レイアウト



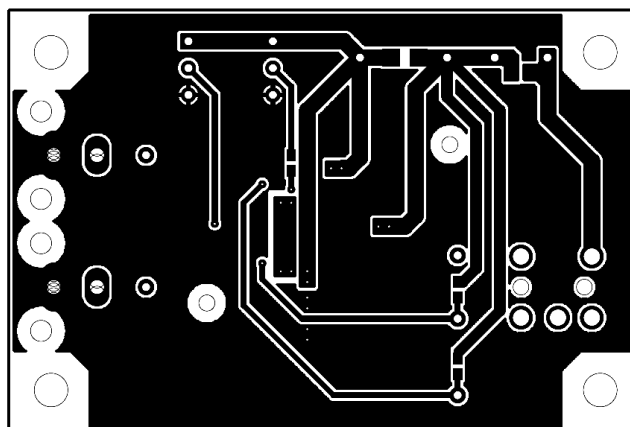
TOP SILKSCREEN – TOP VIEW



BOTTOM SILKSCREEN – TOP VIEW



TOP LAYER – TOP VIEW



BOTTOM LAYER – TOP VIEW

## ●使用方法

- ① 評価ボードのスイッチ(BD882□□GUL: SHDNB, BD884□□GUL: SHNDLB / SHDNRB)が L になっていることを確認してください。
- ② 安定化電源の正端子を評価ボードの 3.3V ピン(V<sub>DD</sub>)に接続し、グランド端子を評価ボードの GND ピンに接続してください。
- ③ オーディオソースと評価ボードをオーディオケーブルで接続してください。
- ④ 安定化電源のパワーをオンにしてください。
- ⑤ 評価ボードのスイッチを H にしてください。
- ⑥ オーディオソースをオンにし、信号を入力してください。

## ●部品リスト

個数	部品名	種別	定数				パッケージ/ SMD サイズ	メーカー名/品番
			BD88200GUL	BD88210GUL BD88215GUL BD88220GUL	BD88400GUL	BD88410GUL BD88415GUL BD88420GUL		
1	U1	IC	—				VCSP50L2	ROHM BD88□□□GUL
2	C1, C3	セラミック コンデンサ	2.2μF				1608	Murata GRM188R61C225KE15D
4	C2, C4～C6	セラミック コンデンサ	1.0μF				1608	Murata GRM188R71C105KE15D
1	C7	タンタル コンデンサ	10μF				3216	ROHM TCFGA1A106M8R
2	R1, R3	抵抗 <sup>*1</sup>	10kΩ	Short	10kΩ	Short	1608	ROHM MCR03EZPJ103
2	R2, R4	抵抗 <sup>*1</sup>	10kΩ	Open	10kΩ	Open	1608	ROHM MCR03EZPJ103
2	R5, R6	抵抗	Open				—	—
1	R7	抵抗 <sup>*2</sup>	10kΩ	Open			1608	ROHM MCR03EZPJ103
1	R8	抵抗 <sup>*2</sup>	10kΩ	Short	Open		1608	ROHM MCR03EZPJ103
1	J1	半田 ジャンパー <sup>*3</sup>	Short				—	—
1	J2	半田 ジャンパー	Open		Short		—	—

<sup>\*1</sup> R1~R4 は BD88400GUL および BD88200GUL のゲイン設定抵抗です。

<sup>\*2</sup> R7, R8 は BD88200GUL のグランドセンス抵抗です。

<sup>\*3</sup> BD882□□GUL は出荷時、COM 端子は J1 を短絡し、評価ボード上のヘッドフォンジャックのグラウンドに接続されています。外部基板と接続する場合は、裏面の半田ジャンパーを開放し、外部基板のヘッドフォンジャック近傍のグラウンドを COM ピンに接続してください。

## 注意事項

1. このドキュメントに記載されている内容は、このドキュメント発行時点のものであり、予告なく変更することがあります。
2. このドキュメントに記載されている情報は、正確を期すために慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、このドキュメントに記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合におきましても、弊社は一切その責任を負いません。
3. このドキュメントに記載された技術情報の使用に関連し発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権の侵害等に関し、弊社は一切その責任を負いません。弊社はこのドキュメントに基づき弊社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. このドキュメントの全部または一部を、弊社の事前承諾を得ずに第三者へ提供、転載または複製することとはご遠慮ください。